

WEB Conference

# Bayer Medical Dialogue Oncology

日時: 2022年 **7月28日(木)**  
**19:00~19:45**

## 甲状腺癌の遺伝子異常に基づいた治療戦略: 現状と展望



### 演者 **伊藤 研一 先生**

信州大学医学部 外科学教室 乳腺内分泌外科学分野 教授

#### 【略歴】

1988年 金沢大学医学部卒業  
信州大学医学部外科学第二教室入局(飯田太教授)  
信州大学医学部附属病院, 市立甲府病院, 国立松本病院, 前澤病院, 厚生連安曇総合病院  
などで外科研修  
大分医科大学, 九州大学生化学教室で腫瘍血管新生機構の研究を行う(桑野信彦教授)  
1998年 クイーンズ大学(カナダ)がん研究所研究員(Susan Cole教授)  
抗がん剤耐性に関するMRP1の研究を行う  
2001年 信州大学医学部外科学第二・助手(天野純教授)  
2003年 信州大学医学部附属病院遺伝子診療部講師(外科学第二兼任)  
2008年 信州大学医学部外科学第二・准教授, 同附属病院乳腺・内分泌外科診療科長  
2014年 信州大学医学部 外科学教室 乳腺内分泌外科学分野 教授  
現在に至る

#### ご講演の概要

- 甲状腺癌において、なぜCGP検査が必要なのか？
  - CGP検査から得られる情報は？
- CGPとマルチプレックスCDxの使い分け
  - マルチプレックスCDxとCGP検査は両方やるべきか？
  - マルチプレックスCDxとCGP検査はどちらを先にやるべきか？
- 甲状腺癌におけるCGP検査に適したサンプルは？
  - 組織 or 血漿のどちらがCGP検査のサンプルとして有用なのか？
  - 甲状腺癌におけるベストな腫瘍組織採取方法は(転移巣のサンプルはどう採る)？

ご自宅や病院、診療所などから、インターネットを通じてライブに参加いただけるカンファレンスです。

#### Q&Aについて

インターネットを通じて随時質問を受け付けます。  
お寄せいただいた質問は講演の最後にご回答をいただく予定です。

- WEBカンファレンスの参加方法は裏面をご参照下さい。

主催：バイエル薬品株式会社